

新しい1年のスタートですね。青少年センターは、本年も、若いあなたの「やってみたい」を応援します！

Youth Center News

広島市青少年センターだより



2月号

発行：(公財)広島市文化財団
広島市青少年センター
広島市中区基町5番61号
<http://www.y-center.jp/>



令和3年1月18日発行

臨時休館及び主催事業中止期間延長のお知らせ：期間 1/18(月)-2/7(日)

広島県における「第2次新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策」を踏まえ、広島市所管施設の臨時休館等の方針を変更し、以下のとおり実施します。

- ①主催事業の中止または延期（ただし、オンラインで実施するものは除く。）
- ②ホール、諸室の利用の休止。
- ③1階・半地下オープンスペースの利用を休止。
- ④受付窓口や電話対応、印刷サービスの受付を **9時から20時までに短縮します。**

2月8日(月)以降については、HPやSNS等でお知らせします。皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解の程何卒よろしくお願い申し上げます。

講座・イベント情報

＝ 講座・イベント申し込み方法 ＝

電話、FAX、E-mailで氏名、年齢、電話番号を添えて青少年センターにお申し込みください。参加費は事業の初回にお持ちください。

TEL/082-228-0447 FAX/082-228-7074

E-mail/y-center@cf.city.hiroshima.jp

※申し込みの際にお知らせいただいた氏名、年齢、連絡先等の個人情報は、当人の許可なく事業以外の目的では使用しません。

※詳細はHPにて随時更新します。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、催しなどが中止となる可能性があります。

詳しくは、お問い合わせください。

オンラインもぐらカフェ★ 失敗しない！チョコレートケーキ作り

Zoomを使ったオンラインケーキ作りを行います。自宅にしながらゆるゆると作ってみませんか？お気に入りのドリンクもあわせて用意してご参加ください♪申込確認後、必要なもの、材料等はメールでお知らせしますので、各自で準備をお願いします。

◆日時 2/6(土)14:00～16:00

◆場所 ご自宅

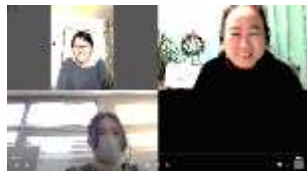
◆定員 6名(申し込み多数の場合は抽選。
小学生は保護者同席)

◆参加費 無料

◆申し込み ①1/31までにメールまたは電話でお申し込みください。

②青少年センターから招待メールとレシピ等の資料を送ります。

③当日は13時から入室可能です。②の招待メールのURLより入室してください。



12月のオンラインもぐらカフェの様子。年末にふさわしく新年に向けての目標を語り合いました。

もぐらカフェ&なごみのラジオ

◆日時 2/20(土)14:00～16:00

(ラジオ放送は15:00～16:00)

◆場所 中2階自販機コーナー

休館中の青少年センター臨時休館中も青少年センターは元気です。

サンタプロジェクト2020

10月からサンタになるための研修を重ねてきましたが、新型コロナの影響により、各ご家庭への訪問は中止となってしまいました。しかし、サンタさんを待っている子どもたちの気持ちを大切にしたい、とサンタさんたちからの申し出があり、クリスマスカードは各自が完成させて、無事郵送することができました。ご家庭からもお礼の手紙やLINEなどがたくさん届き、会うことはできなくても確かにある、見えぬ繋がりを実感することができました。



1階ロビー図書コーナーを少し変えました。

就職活動に活かしてほしいという思いから、関連図書を集めているコーナーですが、レイアウトを変えより見やすくしました！そして、青少年センターには教職員を目指す学生さんが多く来館されるため、「月刊 教員養成セミナー」を新しく定期購入しています！※開館後も当面は閲覧のみとなります。

3階第1会議室に鏡が付きました。

青少年センターの利用理由の多くを占める「ダンス練習」のためにより練習しやすい環境を整え、新たに鏡を設置しました。カーテンもあるので、これまでどおり打ち合わせに使うときにも目線が気になりません！早く皆さんに使っていただきたいです！



11月半ばから12月末まで広島大学の学生さんが実習に来られました。コメントをいただきました！

わたしから見た広島市青少年センター

社会教育実習生 木村友美

私は、青少年センターが「交流の場」となっていると感じました。みそづくり体験や演劇の鑑賞など実習での経験を通して、日本伝統の食文化や演劇という芸術の世界と交流することができたと思います。そして何より、たくさんの方とお会いすることができたのが大学の中だけではできない貴重な経験だったと思っています。実習の中で、世代を超えてたくさんの方とお話しさせていただきました。また、コロナ禍でもオンラインでの事業などを活用し、人と人の交流を拡げる拠点となっていると感じます。